

2008年度

## 秋吉台お花畑プロジェクト

草丈が高くなった場所で草刈り秋の花を増やす



### 帰水南地域

一般参加者に加え、美祿カルストクラブの若い農業者が参加。水分を含んだ重い草を集める作業にも活躍されました。刈った草は地元の畑のマルチに使われ、市内の畜産農家では野草堆肥の材料になりました。

共催：秋吉台エコ・ミュージアム  
秋吉台青少年自然の家



### 聖火採石場地域

秋吉台家族旅行村の指定管理者であったカルスト森林組合が作業されました。刈る高さを変えてみたり、作業の時間を測ってみたり、その後の草刈り作業に必要な作業データを取らせていただきました。

協力：カルスト森林組合



### 帰水北地域

火道を夏に刈る試みに取り組みました。

協力：山焼き十字軍  
ほっとビレッジ美東



夏に火道を刈ると、冬の火道切りが楽になりました。また、刈った草も牛のエサなど有効に活用できました。ただ、暑い中、急傾斜地での作業は継続するのは大変という結論でした。

## 草原の復元プロジェクト

外来植物を抑え在来植物の草原を再生する

協力：  
秋吉台科学博物館  
秋吉台の自然に親しむ会



どうしても山焼きで燃え残る「大ヤブ」を刈り払うことになりました。樹木も混じるヤブを刈る作業はとても大変。たくさんの方の働きで、カルストロードまでの範囲を整備することができました。

## 山焼き応援プロジェクト

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する

協力：  
秋吉台科学博物館  
秋吉台の自然に親しむ会



多数の参加者があったので4班に分かれて火入れを行いました。自作のトーチを使って火を着けます。燃えにくい場所は草刈りをしてから着火。長者ヶ森の前がきれいになりました。

## 里なび研修会 in 山口

環境省主催  
里地ネットワークが開催



プロジェクトの取り組み紹介、秋吉台の草花の紹介、草原保全の異議と手法についての講演ののち、現地観察を行いました。

2009年度

## 秋吉台お花畑プロジェクト

共催：  
秋吉台エコ・ミュージアム  
秋吉台青少年自然の家

草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす



カマの使い方を教えてもらい、刈払い機で作業する場所とを分けて草刈りしました。お昼は地元の農作物を使ったお弁当。午後からは刈った草の一部を運んだ牧場の見学。草をもりもり食べる牛を見ながら、自分たちの生活と草原のつながりについて考えました。



秋の観察会では実際にグループに分かれて花の数を数えました。調査結果の説明を聞き、休憩時には刈った草の一部を使った梨園の新高梨を賞味。オカリナの演奏も聴きました。

午後からは秋吉台の風景や花の写真を用いたクラフト。それぞれにデコレーションをして、ランチョンマットやしおりを作りました。刈った草を使って育てたサイモのお土産もありました。



### 企業ボランティア

お花畑プロジェクトの行事で刈った場所のとなりを刈っていただきました。急傾斜でしたが、子どもさんがんばっていました。

三井住友海上火災保険株式会社のみなさん

## 草原の復元プロジェクト

外来植物を抑え在来植物の草原を再生する



昨年度、樹木も生える「大ヤブ」を刈り払うと、そこにはセイタカアワダチソウが繁茂しました。今年はさらにクズのつるもからみ、非常に作業しにくい状況でしたが、昨年よりも広い面積を刈ることができました。

## 山焼き応援プロジェクト

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する



積雪により火入れによる燃え残り整備は中止になり、一週間後にヤブ刈り整備を行いました。今年も景観保全に貢献できました。



山焼き  
十字軍

ボランティアによる「火道切り」を行いました。急傾斜なので、草を刈るだけでも一苦労です。刈った草は牧場に運び、敷き草に使ってもらいました。



連合山口の  
火道切りボ  
ランティア

火道切りの草を集めてもらい、それを堆肥に利用してドリーネ畑で野菜を作ります。山焼きの伝統とともに草を使う文化を体験してもらいました。

2010年度

## 秋吉台お花畑プロジェクト

共催：  
秋吉台エコ・ミュージアム  
秋吉台青少年自然の家

草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす



草丈の高い場所を刈り取るのは大変でしたが、子どもたちも元気に作業していました。観察会では、昨年度の草刈り跡も含め、花の咲き具合を確認しました。草原に親しむ体験として、野草を使った紙すきやセイタカアワダチソウでの草木染めをしました。



美祿市立本郷小学校

長者ヶ森駐車場の北側の歩道沿いでお花畑を作るための草刈りをしました。作業の合間には草の上に乗転んだり、ササ茶を飲んだりしました。

## 遊歩道にお花畑づくり



一般募集  
の行事

企業ボランティア

三井住友海上火災保険株式会社  
みなさん

遊歩道でも初夏に草刈りを行い、秋の花がたくさん咲く歩道を作ろうという取り組みでした。

午前中は企業ボランティアの作業、午後からは一般募集の行事として行いました。草刈りした歩道沿いには10月には花が再生し、ウォークイベントの参加者にも好評でした。





## 草原の復元プロジェクト

外来植物を抑え在来植物の草原を再生する



秋にセイタカアワダチソウが咲くのは景観上好ましくないため、今年から7月と9月末の年2回草刈りをすることにしました。残暑厳しい中の作業は楽ではありません。現地学習会では外来植物の侵入を防ぎ草原を良い状態で維持するのに必要なことについて学びました。

## 山焼き応援プロジェクト

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する



クリ園跡と、帰水周辺に分かれて作業しました。どちらも燃えにくい場所でしたが、刈払いも行いながら作業しました。



連合山口の  
火道切りボ  
ランティア

火道切りの草を集めてもらった堆肥には、草原の復元作業での刈り草も追加しました。この堆肥も使ってドリーネ畑で育てた大根やカブの手入れもしました。

これらの野菜は、連合山口の火道切りボランティアの昼食に提供し、希望者には畑から抜いた野菜を持ち帰ってもらいました。